が、我が年間に於いては、つど

ことなな味するのである。

徒端なりといへども、

ねばならないのである。兵器が

が確立を促し、且つまた今ここ

を極め、といふ文字を見、その

我等はよく。成局は健館苗製

行事を減せんとすることは當然 である。さきに出職に於いてこ

> である。その取ねくの示道は を明して各道に通牒を疑したの

> > ふのである。自國の内部混乱の する血版死局の速量であるとい 下西南太平洋に展開せられてゐ

る

ぐなひ得ないところのものであ

集中強化といふ決戦と直接関係 線差力の緊急強化、物質々金の 直接成力の増弱、緊要軍需物質

にその影響の振動的役割を持つ

て、銃後極力は決戦々力の境阻

止めてゐるが、赤軍司令部がハリ 物を特火取と化した郷田は、寸土

である。それらの一切を切捨て

に苦しく敬り行はれてゐたもの

全とした行事、**東合が**随分に安

思ふにすべての行事は何らか

は酸重なる統制の行はるべきは

既を招來する危険性をゆんでゐ

り、脱翼であり、起工であると

888

頭痛心

ネッサル

會商トイラ藤佐館本質者工和

結集することが最大の欧親でも に結集すべきである。かく概力 銃後國民の難は何をもつてもつ

直接的關係の旅源な國民運動 戦ふ國家が、その阪力の境弱

に「石壌の決威原物化」の徹底

說社

行事の調整に勵す

が如何なる反攻であるかに、相

ついく血酸死間の慢幅苛烈の深

上師一人の兵をかくることの故 民は似に申認のない話である。

られてゐるかを飲知すべきであ

空然である。

思へはこれまで脱

質、磁製、起工、表彰などを内

を分かたず智烈な市街販が織行さ 隊と郷垣守備隊との間に依然覆夜 リコフの東北部郊外では赤軍突断

君狂ひの歌に対し、堂々の進む

〇〇地方にて (盤米 世界 単単 新任務につけるキスカ

キスカ

守備隊の勇士 **医果食機組織)= 理送**=

わが超海軍部隊によって直ちに略

六二十三型関復は、各種火砲二八、弾火・、八、、連火・、〇七二、加極機一八、九二一、小大三、弾火・二八、加四機一八、九二一、小大三、弾火・二八、神火・三、

のれたが、わが屋海軍部隊は引

ユーシャンの敵操點ダッチハ

水臓がアト

力息のナザン酸に深く

高入して数甲級ノーザンプトン型

市國温速監は九月中旬间方面で

來機は耐ぐその数を増加し本年に ダ脳由アラスカに至る航空乱地の を開通し、さらに米本土からカナ

は世九機の死倒であったものが

を開設、関係監一等を開発一種と

華民地區で盲弾

米機、無辜の中國民衆を殺傷

によりカーチスP40を式画で解除したことが判明、脱資無は合計四

(大使、フーロッスが) スペイン駐削災國大便サ

火をもつてごれを軽退した一機來避したが、わが方地場のサムラキに四般大型機 日では、おび方地機

ふい胸査の結果・地上部隊の砲

帝國海軍部隊は昨年六月四日ア

一方心兵の揺跡に努めた

★はち八月世一日には帝國都 を見せ十月五日にはアラスカ公路

リユーシャン反攻に積極的な動き。カ島ウムナク島アダツク島と断々

引掘き祭國監海鎮部隊は六月七日

この頃から米國広順吹本格的なブー卵間を飛行順ひに同道せしめアト・十七機と疾験機びな斯次増加し、一環集を収めたのである。わがアツ、高額水艦二妻を繋びしたのである。入ると隣は弘神をアリューシャツ一二月には十七機、三月には二百八一のもの二妻を中機せいめるといる。

古語して日立版を北風に翻へし

のである、米國は此兩島が占護

遺屍、俘虜一

敵機蠢動の基地粉碎

軍遺派那支

て武滅地區に來逃したことは既

が完然はこれを選択し、敵が誇る 【第四村 | 回回国] 中 | 回路口景

に採退した在文米空軍に對しわ

24三機を駆逐したが、このほから一の攻略を受けた国験表した

海上部隊が出数的に日本航空部隊 ってベララベラ島水域の反脳軸軍 **軸軍司令部は廿一日取況公報を本**

隨所に激戦展開

赤軍、大攻勢を開始

題の一般に突進せんとの決減を への銃後の全回民は今とそ駆撃 がは正に一個の双間にかかっ あり、前脳解士の出烈を成

面で反脳軸交流七十五機を踏撃した、多数は多級爆撃のある

り有に店業園会

廿日の明日にわたり地中海方 歌闘機隊および高射砲隊は十

-五機撃墜 | 日同盟 | 佐軸機七 | ロートロ

に励する在支米公軍は廿一白午後

機撃墜

ベラ島爆撃 荒鷲のベララ

> においてスペイン統領ブランコ ル・ホーアはパン・デ・メ

飲を遂げたのち廿一日午後す

敵側も認む

米機損害は四機

【ブエノスアイレス廿一日同盟】 ヘルボルン 殊冠 | 西南太平洋反脳

日同盟もが属次の

く帰路したもので中國民衆は極度

然時はアリユーシャン

果を綜合すれば次の如くである

ス

わが陸海軍部隊新任務に就く

水艦二隻を軽沈した 一、同九月中旬賜逐艦により敵潜 ーザンプトン派に大損害を與る トカ島ナザン港に侵入の敞甲巡ノ

・照和十七年六月五日メッチハーメッチハード・区 歌館的打「職を一1、同八月八日ブツツ永城に出現・年線合すれは次の班くである」(味か飯重要軍事施設の大学を逃滅)ソ副を電源領域力にて奇楽日候の近が完了した海戦部隊の成一郎を観察・職機す一機を観察する。一、同月七日キスカ、同八日ブツ湾京衛語)「※二ケ月わぶ北差」―パーをはじめテリニーシャン院「職な

き四切前欧とともに輸送、補治を

完全な機密保持

敵の妨害なしに撤収

状態を持つものであることを数示

してゐる、原則として政府は國民

一般力度型前上有利であるが、作取

惡條件下皇軍の善謀勇戰

地點に牽制

とり米銀の同島上陸企嗣を著して過延せしめ、隣後のわが作戦

※の四海空軍をこの1地間と

破割されてあるのを目離し

大意師下場壁機制等ライトニス意師下場壁機制等のイトニーク級機構材を浴びせを加へ、且つ機能が材を浴びせない、上の機能がある浴びせない、上の機能があるがない。

8加へたが、日本館から 8番戒上艦艇は テスカ島

な目標であった。日本年を加へたが、特にジェル

。風中、圧血髙

危い脳溢血の

1

の成略態勢は約一千個の距離されの集積であった。今や日本

至之子

に樹し現状を知悉せしめることが

版収の無人心に貴重な爆職と砲曜一

防衛に氏じてゐたが、今一上殿既が護事を利してキスカ島に一スカ島に対する米町の猛烈な機能

同八月世一日帝國潜水艦はア

環に海軍部隊の戦果

- 隻を屠る

母質があるが、今回米加瞬酸軍の

までカナダ軍が取らアラスカなら

顕識の任を完了した修箪部隊の取り恵見問語」一年二ケ月わが北差

敵機计

を撃墜

米國海軍省が七月終りからキスカーした。キスカ陰の威況は除程艦してエノスアイレスサー目同盟とを衝撃もなく産婦した事質が判明

かつだと見ら、まつルーズベルト

グがケペツクで共同盛明を競扱し とカナダ首相マツケンジー・キン

を開始したが日本年の一兵をも認

リス本國軍総司令官中将パーナー廿一日阿盟」ロンドン來館・イギ

笑止、無人島

銃火

弾と

地地を観符と感けたが、共る五月廿九日アツツ部電舯距映の玉碗のくわキスカ部の気神峡は悪兵をあつと、戦の医院を置を跡破し、北麓きアツツ部を改飾し物後一ケ年にケ月屋襲と謀勝に加ふるに続拗な頭の反驳と認ひな歩りよく結晶無比なる 長政策を駆地して認識を

【東京電話】昨年六月の上旬帝國臨海軍部隊の新作戦は突如として北盗の

赫々の戰果を攀揚

任務こゝに全く完了

島力スキ・絕凄

こ人るや上旬のみで五百九十八機 には八百六十九機に強し殊に五月

六千を下らざる大損害を與へ、 酸に抗して決死の攻墜を加へ敵に

一、八月十九日未明チモール協ク・十九日には来の敷地版に來願した

政適です。

ンに双辺中以環域機二国ンに双辺中以環域機二国

日午前アラフラ派のゲイス解上においてコンソリッド 82 工機をわが破場だっこれを指揮、祭中戦党・これを指揮、祭中戦の、教・機は愛助機一基、、外の機は愛助機一基、・小級銀して他の一機ととしない。

六

〇六號と

大平洋収録の履着状態に伴心敵南太平洋のし基地廿二日同盟

敵機悉く撃退

順にわが後方占領地域に對

をゲリラ空襲わが占領地域

ずか生を肌素

こなってゐる、これと同時にこの「月廿九日の夜に至り金質は壯烈な

る玉碎を遂げたのである

版は古らにキスカ島に對する攻壓

かくてアツツ島を手中に収めた

見したのであるが、これらの陰

無限なる機能保持が繋だ事大なる。 り 厳暴験および肌を兵力の大部「ヤン前局キスカ局ならびにアツツ」に戦闘をつぐげ途に本年五月廿九「戦を京康せる基地を死守。 1 手敷めり。 同時に作成(鑑力に答っては 1・ キスカ局接収後約1 同にわた | る米北方基地に帰むするアリュン | 性と透波を分たぬ駒の棚間御覧に「果よりその後ももらゆる危険と困ー

「展京館路」キスカ部におけるわ 一般をわが原派的性際が機先を削したの大手を呼びたることなく 八日であつたが、その後アツツ湖の地域を受けることなく 八日であつたが、その後アツツ湖の大手を呼びることなく 八日であつたが、その後アツツ湖の大手を呼びることなく 八日であつたが、その後アツツ湖の大手を呼びることなく 八日であつたが、その後アツツ湖の大手を呼びたが、

の胸底に無限の数調を数んだが、

要よりその後もあらゆる危険と困キスカ島守備部隊は作鼠全般の必

の訪繁で格石の重きに置いてめたが、大本学競技の通り今回その任務を完了したのでも月下街舎支力の撤収を完了した。こゝに昨年六

殊に何などを中心とする有力なる

飛行機をもつて忽襲して來った、

の如きは一日無威九十六碳、同廿 たのである 殊に七月に入ってから敵機の死機

その砲隊は世分間激烈に避行され カ島砲隊は巡洋艦四支、驅逐艦四 酸はこの時この方面に艦艇、特

月以来の日米兩國が極北近きアリユーシャン別島を中心に展開した批説なる変防形闘終期を綴って見よう

時局勝河會は廿二日午後二時府民の極軍少将金子定一階下を迎へての 新、京日共同主催、聚鹽院開資 しめ一葉に魔滅せしめるべく

首相もそれに涙を飲んで大い ノリーニに相談を持掛け、

路を出來る、人的質別方面で、ソ 際は中國に次ぐ人口國であるが一 昨年、昨年合せて戚死、崩壊は二

るに若し強ソ限が起らずに世界 になれば赤化は扱ろしい が助風の音と化してゐる時に

【上海七一百回图] 廿二百年前十

監制規則の改正實施が競奏さ

ため勝工省から職権製品製造

昔の友生活

こと云ふまでもない、元來が 兄人**法籍歌、敷糸、帽**作、紡 つて、被服の購入消費には

に持ち洞壁レ子あたのでない。自代日本では新世の人々と離らつけるからみれば開発を変え

戰爭目的不

スの膀胱を紹介しよう、この殿間

諸國 の間頭、そのごは下 ーランド及びパルト ある第二職級問題、その二はポ

一糖短期間にペルリンに近く迫り

犠牲を惜し

ベツク酸版が果して何を酸配に取

ってあるが、米英加政府が勝る殿

製品の重要問題になってゐるのは に取って第二、戦級問題より以上に

像してはらくケペックに於け

度で或は對ソ協関問題が主で

ルは十一日から三日 ルーズベルトの故

間で「世界大概の現段階と最 随と殴して行はれた、二千 製金前に一時間に買る整旗で

第一段開伏大型距共発電の全部(くまた皆国中国の戦争登行をが響)わたって、大田間電視器と 商等哲目・地方の今日来でを三級階に分ち、総行するうへに得るところ戦るが、事官らと観戦ののち、約十分間に日米間は復行 一昨年の十二月八

の競表も一個師を戦滅したとか飛 元力稍能能が

主力だ、

従って

取果 の段階に回し到ソ戦の意識を表

中國の病根友除

經濟援助も再考慮か

相亞東大木青

き止め日が協力によるに根を除に

ある種の価値を得たものう如くで

世一旦中的上海に赴いたが、大東

が近をはなり、

酸素の増産

不可吸のもので、これなくしては、いかに酸糊を増売しても一般の配 等の飛頭的拗元に伴って酸素の湯 近く本年取り降昭和廿年度に至る に選進してゐる 高度の方針に協力して酸素の頃面 業就制會でも酸素構製の放場に修

リカは成母に助員した数は六百五一を、技術、立地條件等の服务な工、放大分裁じたであらう、特にアメ(酸素増加三ケ年計能を設けし、一級

大東亞港化した新香港 南方貿易の中繼地 物資輸送に機帆船活躍

南の間に個人的貿易協定を無難し時間、ピルマ、マライなど共愛園で め食師、韓工製原料での他を隣接 各地域に仰がねばならない、香港 一般地質局はこれがため所集をは 合の設立、外洋双原組合約成、推過 てゐる。順ち被督が喧嚣による唯

とも交易すべく弱々と計費を他め

質易組合を加じ

部事工店商了十 一日行はれたが開頭の結果同

切の吸述ひの根拠であり同時に見

利害の不一致と意志の破壊は欧州 粉帯以外にも多くの料で喧嘩のが 香港の中郷港

んとしてゐるのは事ら太西洋境軍 イドやパルド三國の國立を保険せ

歌州 製造空間 - 物。

粉争の無動一即な

ひ十七日先づ第一回正式の歌を行

一覧されたのに従って、関切もま 香港の本質的 従来物質撤出のみを許可能とし 人は帰出制であったのを脱入につ 協易は關整され、その根本方針 四部保とこれが開館枠の御正、 (1) 香港、四部保とこれが開館枠の御正、 (1) 香港、

機帆船で、物資輸送に大いに抵

病難は極めて心臓に逃抄しつ

林式週間展生

○○○ののでは、一つののでは、一つののでは、一つののでは、一つののでは、一つののでは、一つののでは、一つののでは、一つののでは、一つののでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、

ま残った柱を掘で作ら、あの時に

配に下車された。頻がついてみる

機能がなかつた。その平壌へ開雨

が走り、一幅がといろく。午後の

高田邦憲氏が《子棚の背幕はい

敏郎

私選が繰り無てた展園車の、反

は間点ひで、既に月があったのだ

券擔原大

松とおもひ乍ら、私はいつまでも 直されねばならぬといふ風に、巡 流れる河をたのしみ、私遠は駅

場が新興日本に、新しい。距細心たのであった。それを思へば、平

キング改題

嫁は子供を

を一人前

一
迎
当
に
帝
手
し
た
の
は
昨
年
十
一
月
三 日明治の佳節であった。之は〇ケ 昭南州丸が進水し、二月以降圏

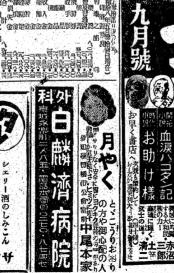
粉書はいるとうある 法多意思















大演奏會曲

き続けてある 衆議院皇軍

徹兵制の区波を宣揚し醒の御佐た| むつて一同『海行かば』 | 四唱・ | 四

り熟心に作業に従事した。概念作事中『今までの罪の図び』とばか

生活を行び、勝ち扱く心身を映勝

半島の使命强調

大家朝鮮代表歸任談

今年は八月迄

内地國民校卒業者への求人申込 戦、台殿の代象一石卅五名が廿二三日の後に終へて潮、戦、戦

聞べてみたところ、何んと、 内在の手をゆるめず、査定品を

青陽產業組合

不良に

一大学 (1987年) (1987年)

国・一般部分品賣出
「一般部分品」、一般部分品賣出

州職業紹介所

必得、戶鎖抄本各一追當船

無線電信學校

金 【二二】大和町第一町

行け南方

大榮 圈 个大陸 个

本海外声年會

二、就求業人內/場者地 開発其ノ心の関係が、という。

船を走らす、このほか上陸

島崎藤村氏 五、採用條件三、作業種類

「平塚紀郡・文塔の巨星品略麗 六

を行いと称でり 電がは事故でリ のことのでは、質量・日十時間ニテ) をおはまながり

質視整備ナルモノ
に成り上端二十歳迄ニシテ思消化道

火夫緊急募集

ţ 九八

新山村歌門 ノー四 有田原 (東京 大明) スリース 南田原 リカル・リース 南ラー

一つい三男物助でも出物子でした

郵便物開始

一般の十五

異、文士等と瞬頭で変媚ののち協

との挨拶があって校野を終了

否があつて逊族代表から

烈々活く鍛錬精神

文中鬼梭第四躬年生世、松村 に飾られ炭膚な中にも夙君の **・ と 京の 解答 臨党 西田 京 広 徳 で から 吹 られ た を か が 一 不 。 こ ら 成) 子 顾 起 の 死 子 ゆ 一 な こ ら 成 り か こ き れ な 歌 り か こ き れ な 歌 り か こ き れ な 歌 り か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き か こ き ら か こ き か こ き か こ き ら か こ き か こ き ら か こ き か こ き ら か こ か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ さ ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ さ ら か こ き ら か こ き ら か こ き ら か こ さ ら か** 勤勞に散華の徽文中生校葬 を脱し金別生徒の回顧には我・学報いんとの新ひも固き者近

われもまた皇國民

舞して第一級粉土に負けじと北方の 配士を、設定しめてゐる故跡物語が

一ケ月に亘って鮮糊各地の畠軍

【其の 】 数年的内地を修り 「巫覡」とので条数を必要して北」回郷出南田舎の東川王価様合のは土工で始ましてあた中村「昭然会」 方のの作業員と帰郷した。 中年のの下議に後用工として強く土工で始ましてのように現地と

更生の半島同胞、敢働佳話二つ

|整三幅を以て九時財産した 登行鍊成會

徴兵制感謝青年大會の盛況

の断京で行った第二回日湖南

般來賓の脈に関燃こもる機 られ引殺き和政、詩的、奴然が

建し七

神宮夏季

大會幕閉グ

氣魄

場では午後五時五十分からかか

|東京衛艦|| 南宮大竜辺帯大竜蓋 | が名れぐ | 健勝して七草名延展す | 関を指すて候勝した| |日海洋蝦技竜場には高な糖素管 | る端しい星園騒丝の鬼碑を示し、| その問題関係観かる

の十九分四十八秒の好的数などの十九分四十八秒の大記録や一

分二三秒六 2 武勝(東京都四女) 三分三三秒 3 部(国) 三分三三 沙四 京 一分一秒

高知の二颗が獲得、左の順

村泳礁でした同面中坪田の松村成村泳礁でした同面中坪田の金 農民の赤誠

る共同耕作して馬歐路を植名たが

敵前上陸もさこそ

食血に

100 紀……17.17







局血壓

をごり

因から治療せよ

們經痛

いなで着茶

南溟へ注ぐ少年工の瞳

3で職場に雄々しくも、前みどろの敵闘を繋げる背が年工の任務に軍大なものがある、米窓を育る傲勢崩壊た兵器に関東があるらればならない。生活が頭こを他国の総跡である。それとこもにこの慰戦意が生滅の重要を譲って工場を

移動防止について

館 花 浪 館 樂 喜 場劇花桃

ス月十九日より 東線と頃と藝術 で要案演奏動の一略

さく 愛のユユ 學 | 1

生三日30~1日間(母夜) 國際 興 亞 大 公演 國際 興 亞 大 公演 程序 情 三氯四県 人 经科井大八十五部四十

京日

深内

タラジオ

即(繪)

米英國滅の耕巧無比な兵器製造に

けた王を威嚇し無思の賊を致しい もので、その制領は皇國に生态事

5033 5433 7042 8680 10261

座日朝 館畵映信和 場劇央中 場劇南城 座治明 場劇科日京

劇

若, 籫

城丨劇

京

場劇陸大

場劇洋東

座富新